

ホクコー

トランスフォーム™ フロアブル

Isoclast™ active

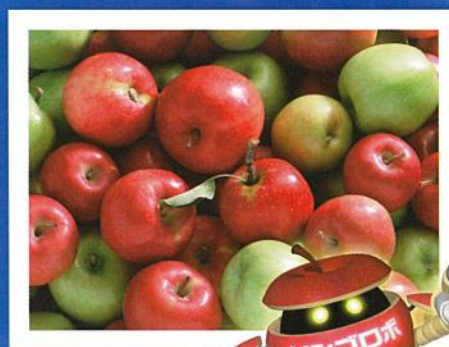
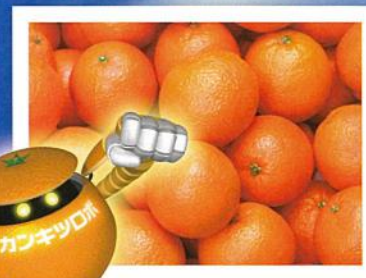
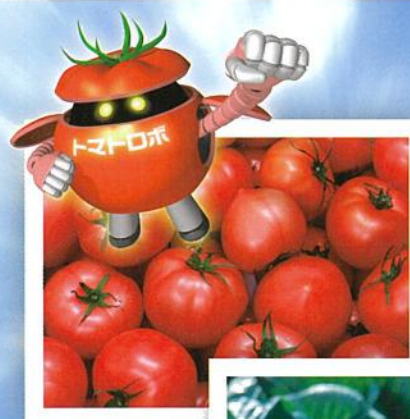
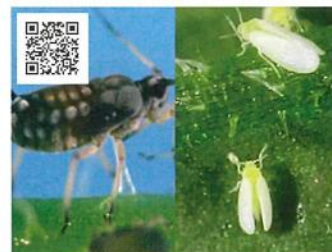
園芸用殺虫剤

野菜・果樹の吸汁性害虫防除に、
新規スルホキシミン系殺虫剤。

アブラムシ類、カイガラムシ類、コナジラミ類に優れた
殺虫効果を発揮！吸汁性害虫防除のスペシャリストが、
速効力と持続力で、作物づくりをサポートします。

- ・ほうれんそう、ネクタリン、しそ、つつじ類に適用拡大！
- ・りんごの「コアオカスミカメ」、かんきつの「アザミウマ類」に適用拡大！

■ストレッチ症状
(ワタアブラムシ・タバココナジラミ)
QRコード：動画でもご覧いただけます。



大切な実りを 吸汁被害から守りぬく！ 害虫防除のニュー・ヒーロー！

■トランスフォームフロアブルの特長

「スルホキシイミン系」の新規殺虫剤です。

現在の知見において、既存のどの系統の殺虫剤とも交差抵抗性は認められていません。

幅広い種類のアブラムシ類に効きます。

試験した全てのアブラムシ種(20種以上)とコナジラミ類、カイガラムシ類に対して、卓越した効果が確認されました。

浸透移行性と浸達性があり、残効性に優れます。

散布後に展葉してくる新葉にも有効成分が移行し、一定期間防除効果が期待できます。

速効性に優れています。

散布後すぐに、ストレッチ症状が観察され、数時間後には多数の虫が落下して死亡します。(カイガラムシ類を除く)

耐雨性があります。

薬液乾燥後、降雨があっても良好な防除効果が期待できます。

■トランスフォームフロアブルの適用害虫と使用方法

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	10アール当り 使用液量	使用時期	本剤およびスルホキサフロルを 含む農薬の総使用回数	使用方法
りんご	アブラムシ類	2,000 ~ 4,000	200 ~ 700ℓ	収穫前日 まで	3回以内	散布
	リンゴワタムシ、カイガラムシ類、 コアオカスミカメ	1,000 ~ 2,000				
なし	アブラムシ類	2,000 ~ 4,000				
	カイガラムシ類	1,000 ~ 2,000				
かんきつ	アブラムシ類	2,000				
	カイガラムシ類、アザミウマ類	1,000 ~ 2,000				
	ゴマダラカミキリ成虫	2,000				
ネクタリン	アブラムシ類	1,000 ~ 2,000		収穫3日前 まで		
	カイガラムシ類	2,000				
すもも	アブラムシ類	1,000 ~ 2,000		収穫7日前まで		
おうとう	カイガラムシ類	1,000 ~ 2,000	収穫14日前まで			
ぶどう						
ばれいしょ、ごぼう	アブラムシ類	2,000	収穫7日前まで			
やまのいも			収穫3日前まで			
キャベツ	アブラムシ類、ネギアザミウマ	2,000	収穫前日 まで	2回以内		
だいこん、レタス、非結球レタス、 非結球あぶらな科葉菜類、ブロッコリー	アブラムシ類		収穫3日前まで			
はくさい			収穫14日前まで			
ほうれんそう			収穫7日前まで			
しそ			収穫前日 まで			
きゅうり、なす、ピーマン	コナジラミ類		1,000 ~ 2,000		発生初期	3回以内
トマト、ミニトマト	アブラムシ類	2,000				
	コナジラミ類、トマトサビダニ	1,000 ~ 2,000				
さく	アブラムシ類	2,000	発生初期	3回以内		
	アザミウマ類	1,000 ~ 2,000				
つつじ類	ツツジゲンバイ	2,000				

■使用上の注意事項

- 使用前に容器をよく振ってから使用してください。
- 本剤の所要量を所定量の水にうすめ、よくかき混ぜてから散布してください。
- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
 - ・ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。
 - ・受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけてください。
 - ・関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。
- 散布器具及び容器の洗浄水等は河川等に流さないでください。また、空容器等は環境

- に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 間引き菜及びつみみ菜に使用しないでください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に被害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。
- 作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- 直射日光を避け、食品と区別してなるべく低温な場所に密栓して保管してください。

●使用前には、ラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
 ●空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。 ●防除日誌を記帳しましょう。

本資料は2020年2月現在の知見に基づき、作成されています。